

# 学校法人北杜学園 学園歌

作詞・作曲：Kiroro

歌：ティーナ・カーナ

G D/F# Em D C D G  
はるかなゆめ - せいしゅんのときを - い

C D7 Bm7 Em7 A Dsus4 D  
つもひとみ かがやかせて つかんだもの このてのなか

G D/F# Em7 G/D Am A<sup>b</sup>aug Am/G D/F#  
た - くさんの - と も だ ち と - お も い

Bm7 Em7 C C/D D  
できずいていく あしたへはばたけほこりを

G D/F# Em7 G/D Am A<sup>b</sup>aug Am/G D/F#  
もちつづけ - すすんでいく - じぶん

Bm7 Em7 C C/D G  
でえらんだみちここからいまあるきだそう -

遥かな夢 青春の時を いつも瞳 輝かせて 掴んだものこの手の中  
たくさんの友達と思い出 築いていく 明日へ羽ばたけ 誇りを 持ち続け進んでいく  
自分で選んだ道ここから 今歩き出そう

曲がりくねった道は果てしなく 心の中 強く願う 一步一步 大きな世界  
たくさんの夢 希望 一つずつ繋げていこう 杜の街から 無限の彼方へ 未来へと  
青葉の季節いつも感じて 今歩き出そう

目の前には青葉が広がる 共に学び語りあった この場所から羽ばたいていく  
たくさんの思い出 心の翼にしよう 新たな旅路の始まり まだ見ぬ未来へと  
自分の可能性を信じて 今歩き出そう

## 『学生便覧』について

『学生便覧』には、履修、各種手続き、学生生活に必要な情報等を主に記載しています。学生生活で不明な点がある場合は、まず『学生便覧』に目を通してみてください。

また、『学生便覧』は、入学時のみ配布しますので、卒業するまで紛失しないよう気をつけてください。在学中に内容の変更が生じた場合は、本学ホームページ等でお知らせしますのでご了承ください。

学生の皆さんが、健康で有意義な学生生活を送ることを願っています。



## 学長メッセージ



令和8年4月

仙台青葉学院大学  
学 長 田林 暁一

皆様のお手元に仙台青葉学院大学の学生便覧をお届けできたことは何にも代え難い喜びであります。仙台青葉学院大学は2024年4月に開学し、看護学部、及びリハビリテーション学部を設置しました。両学部は仙台青葉学院短期大学看護学科、及びリハビリテーション学科から改組された学部で、その背景は、①四大入学希望者の増加傾向、②高齢化社会の到来、及び高度化する医療に対応できる人材の養成、③医療・介護・予防・生活支援等を一本化した地域完結型医療システムの構築に向けた実践能力の高い職業教育であります。

本学の学生に対する使命は教育基本法にある教育、研究、人格形成、及び社会貢献で、本学の建学の精神である「豊かな人間性を育てる教養教育」、「良好な人間関係を築く対人教育」、「地域社会に貢献し得る実学教育」はその考え方に沿った内容であります。使命の具体的な内容は本学の特徴を加味し、学生にとってより判りやすくする観点から「友をつくる」、「地域とつながる」、「未来をひらく」としています。

第一の「友をつくる」は本学が2学部を有し、そして仙台青葉学院短期大学に8学科を有していることにより、多様な背景を持つ学生が多く集まり、友情やネットワークを築く絶好の機会を提供している環境から生まれます。自分と違う体験を持った学生との出会い、また難しいことや辛いことに会った時にそこから逃げずに対峙することで生まれるコミュニケーション能力を通して、学生が社会的スキルを磨き、生涯にわたる友人関係を築くことができますようにします。

第二の「地域とつながる」は地域のプロジェクトやボランティア活動への参加の機会を与え、それらを通して実践的な経験を積み、地域社会との連携を深め、学生が地域の発展に貢献する役割を見つけることができるようにします。ボランティア活動は学生が二次元コード（SSG 地域ボランティア）への登録でできるようになっています。

また、地域医療へ卒業後早期に貢献できるようにシミュレーション教育、及び3次元動作解析装置等を用いた実践教育を行います。

第三の「未来をひらく」は将来のキャリアや人生の目標に向かって進むための基盤の提供を行い、教育や研究を通して学生一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、未来に向けての準備を整えることができるようにすることです。また、両学部生にとって資格取得は重要で、学修—反復—評価に基づく教育、及び先述した機器を用いて臨床に即した教育を行い、資格取得、及び高度化する医療に対応できるようにします。

学生への使命の提供により学生は目標を定めることができるようになると考えています。学問する上で非常に大切なことは目標を定めることで、それを定めることにより前に進んでいく精神的エネルギーが生まれてきます。

仙台青葉学院大学は教職員一同全力で皆さんをサポートし、社会に出る最後の関門としての責務を果たして行きます。



# 目次

---

■ 『学生便覧』について	
■ 学長メッセージ	
I 仙台青葉学院大学について	
■ 建学の精神	1
■ 大学名の由来	1
■ 養成人材像・3つのポリシー・学修成果	2～7
■ 学則	8～21
II 学籍について	
■ 修業年限と在学期間	25
■ 学籍番号	25
■ 学生証	26
■ 学籍異動	27～28
III 履修について	
■ 総論	
● 教養科目を学ぶ意義	31
● 履修登録	31～32
● 授業	32～34
● 単位	34～35
● 試験	35～37
● 成績	38
● GPA	39～40
■ 学部学科	
● 看護学部看護学科	41～49
● リハビリテーション学部リハビリテーション学科	50～56
■ アカデミック・アドバイジング制度	57
■ 学内ポータルサイト UNIVERSAL PASSPORT (UNIPA)	58
■ オフィスアワー	59
IV 学生生活について	
1. 窓口	
事務取扱時間	63
各種証明書と願・届出	64～65
2. 大学からの連絡方法	
掲示	66～67
本学ホームページ「在学生向けコンテンツ」	67
学内ポータルサイト UNIVERSAL PASSPORT (UNIPA) による一斉連絡	67
3. 学生生活の心得と支援	
ルールとマナー	68～69
課外活動	70
健康管理	71～72
学生相談	73
学生保険	74
ハラスメント相談	75

修学支援制度	76
アパート・学生マンションの紹介	77
アルバイトの紹介	78
仙台市博物館キャンパスメンバーズ	79
外国人留学生の皆さんへ	80～81

#### 4. 施設・設備の利用

図書館	82～84
中央第2キャンパス図書館	84～85
図書・資料検索リンク	85～86
自習室	86
体育館	87
グラウンド	87
五橋キャンパス	88～89
長町キャンパス	89～90

#### V 諸規程

仙台青葉学院大学 学位規程	93
仙台青葉学院大学 履修規程	94～104
仙台青葉学院大学 大学以外の教育施設等における学修及び 入学前の既修得単位等認定に関する取扱規程	105
仙台青葉学院大学 科目等履修生規程	106～107
仙台青葉学院大学 学都仙台単位互換ネットワークに関する取扱規程	108～109
仙台青葉学院大学 外国人留学生規程	110～111
仙台青葉学院大学 公認欠席規程	112～115
仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学 納付金等規程	116～119
仙台青葉学院大学 再入学規程	120～121
仙台青葉学院大学 除籍及び復籍規程	122～123
仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学 障がいのある学生に対する修学支援規程	124～125
仙台青葉学院大学 学生表彰規程	126
仙台青葉学院大学 学生懲戒規程	127～128
仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学 図書館利用規程	129～132

#### VI 学生通則

■ 仙台青葉学院大学・仙台青葉学院短期大学 学生通則	135～140
----------------------------	---------

#### VII 災害時の対応について

■ 災害に備えて	143～144
■ 災害等による授業・試験の取扱いについて	144～145

#### VIII キャンパス案内

■ 五橋キャンパス	149～153
■ 長町キャンパス	155～158
■ 中央キャンパス	159～164
■ 中央第2キャンパス	165～170

緊急時連絡系統図	巻末
----------	----